



# 各アプリの構造例2

【310-21】業務担当者へのインタビュー(プロセス機能)

## 1. WBS/アクティビティ/タスクの目的と機能の説明

**WBS【310】現状のレベル4プロセスの調査・記述**は、レベル4プロセス分析・設計の最初のWBSです。  
レベル4プロセス分析・設計のステップ⇒M300-007①N  
レベル4プロセス分析・設計の成果物⇒M300-007②N

当該WBSの位置付け

個別プロセス機能詳細は、業務プロセスフローだけでは全く不足しています。  
したがって、その詳細を下記のように記述します。  
プロセス構成要素(メタモデル)⇒M800-101N  
これに沿った記述例⇒M800-101N例  
このプロセス構成要素の設定理由は、「詳細な間接的業務観察」とするため⇒M800-101A

**WBS【310】「現状のレベル4プロセスの調査・記述」主要アクティビティ**⇒M310-002N

当該アクティビティの位置付け

当アプリは、この中の**アクティビティ【310-21】「業務担当者へのインタビュー(プロセス機能)」**に該当します。

1. プロセス詳細記述の対象が含まれるレベル2、またはレベル3で記述されたプロセスフローを選定
2. このプロセスフローを参照しながら、プロセス詳細をプロセス構成要素ごとに記述
  - ・レベル2フローを選定した場合は、それに含まれるレベ3プロセスを
  - ・レベル3プロセスを選定した場合は、それに含まれるレベ4プロセスを

当該アクティビティ概要

## 2. インプット

詳細記述したいプロセスが含まれる**プロセス図【310-201】**を指定し、ダウンロードされた図を開いて下さい。

プロセス図の選択

取得 クリア

インプットの指定

上記プロセス図の中から詳細を記述したいプロセスを一つ選定します。

詳細を記述すべきプロセス(参照モデル)

取得 クリア

プロセスコードと名称(記述)

## 3.利用する技法・ツール・事例等

上記で選定したプロセスについて、参照モデルのプロセス詳細記述書を参照しながら、その機能詳細を調査・記述していきます。

- ・参照モデルを利用したプロセス機能詳細の調査の技法⇒M900-562RN
- ・機能詳細記述の事例⇒M310-211N

当該アクティビティ/タスクで  
使用する技法・ツール・事例等

## 4. アウトプットの作成

以下、選定したプロセスについて、その機能詳細をプロセス構成要素として、

①プロセス機能、②インプット、③アウトプット、⑤コントロール、⑥組織・人、⑦ステークホルダ、以上の6つのグループごとに記述して行きます。

合わせて、現状の調査・記述の際に抽出したプロセス課題も記録していきます。

アウトプット⇒【310-202】レベル4プロセス詳細記述書<現状>

【310-206】レベル4プロセス課題(プロセス構成要素別)

アウトプットの指定

## 4. アウトプットのレビュー

最後に、作成したアウトプットをレビューします。

プロセス詳細記述のレビューポイント(プロセス詳細記述)⇒M900-562RN

レビューで使用する技法